（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	源氏物語帚木プロジェクト
事業主体 （連絡先）	源氏物語帚木プロジェクト 0265-43-3001
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,024,323　円（うち支援金：　4,357,000　円）

事　業　内　容

源氏物語と園原の歴史文化を核に、講演会、書道イベント、阿智語り座（講談・落語・漫談）、神坂峠越えトレッキングイベントを実施した。加えて、阿智村オリジナルデザインの十二単を制作し、門前屋に撮影・展示スポットを常設化した。

各事業を昼神温泉郷宿泊や周遊動線と連動させることで、文化事業と観光振興を一体的に展開をした。地域住民の参画や広域周知も行い、「園原＝源氏物語ゆかりの地」という地域ブランドの発信強化を図るとともに、将来的なインバウンド受入れを見据えた体制整備にも着手した。



【根本知氏　講演会】

事　業　効　果

①講演会、トレッキング、書道イベント、語り座、十二単常設展示を通じ延べ約1,500名以上が参加・来場し、語り座は想定100～200名に対し約250名が参加するなど計画を上回る成果を上げた。
②書道展示会約1,200名、講演会は定員100名が満席となるなど高い関心を集め、講談・落語・漫談など多様な形式により幅広い世代へ源氏物語と園原の歴史文化を普及した。
③村民無料化により地域住民の参加が拡大し、参加者の約4割を村民・近隣住民が占めるなど、地域文化への誇りや愛着の醸成につながった。
④・宿泊施設配布や入浴券連動、十二単展示の常設化により宿泊・周遊を促進し、観光消費への波及と通年型観光コンテンツとしての基盤整備を実現した。

【目標・ねらい】

①源氏物語を軸とした地域ブランドの確立
②文化事業と観光を結び付けた滞在型観光の推進
③村民参加による地域文化への誇りと愛着の醸成
④将来的なインバウンド受け入れ

※自己評価【A】

【理由】
参加者数が想定を上回り、文化事業としての集客効果と地域内外への波及効果が確認できた。また、住民協力体制の構築、常設展示の整備、インバウンド受入れに向けた課題整理など、単年度で終わらない持続的基盤づくりができたため。

今後の取り組み

源氏物語を核とした文化観光事業を継続・発展させ、園原地区の地域ブランド確立をさらに推進する。
神坂峠越えトレッキングイベントについては、中津川市と連携して実施する方向で調整を進め、妻籠・馬籠方面からの参加者拡大を図るとともに、将来的には外国人旅行者の参加も見据えた広域型プログラムへ発展させる。
十二単については、常設展示に加え、試着体験と撮影を組み合わせた参加型イベントを実施し、来訪動機の強化と情報発信力の向上を図る。
イベント内容を段階的に深化させ、毎年度テーマや演出を刷新することで新鮮さを維持し、リピーターの獲得と新規参加者の拡大を両立させる。
海外向けガイド養成を段階的に進め、多言語対応や研修を通じて受入体制を強化する。文化と観光を融合した持続可能な事業モデルを確立し、昼神温泉郷の宿泊促進と広域周遊の拡大を目指すとともに、将来的なインバウンド比率の向上と地域経済への波及効果拡大につなげる。